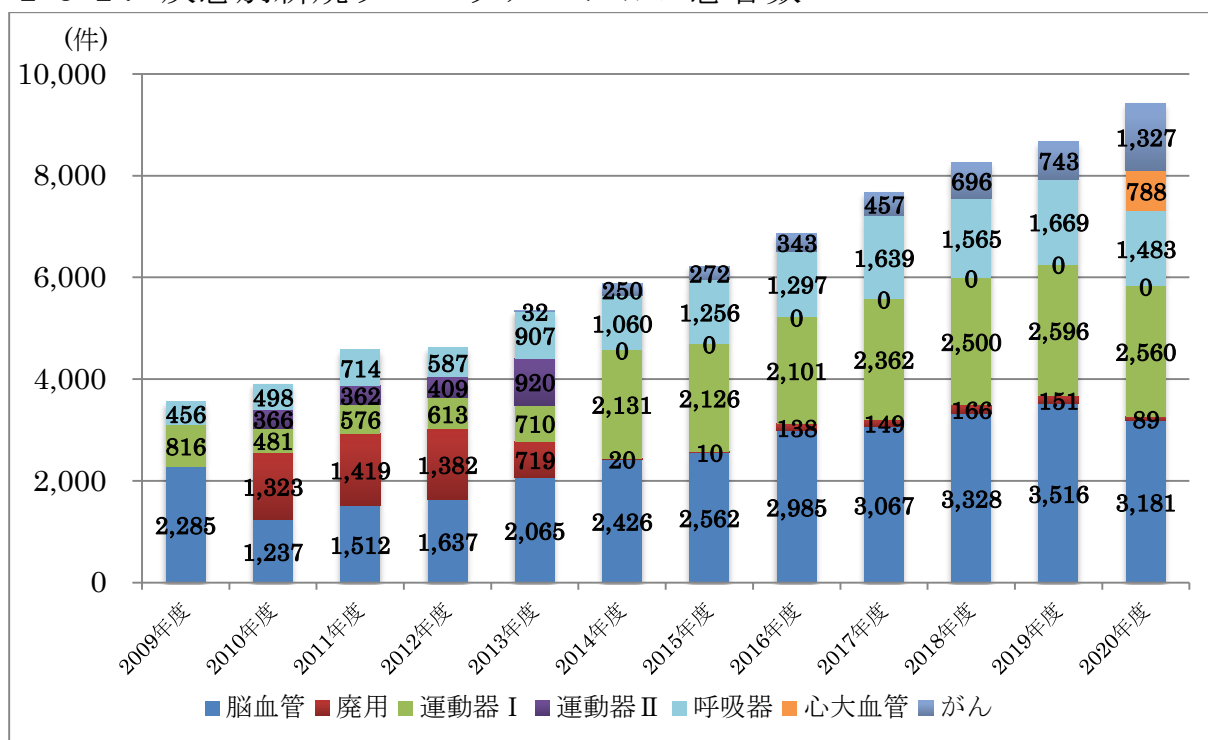


101. 疾患別新規リハビリテーション患者数



リハビリテーションの重要性が認識され、診療報酬上でもより多くの算定が可能となっている。当院においてもリハビリテーション実施件数が増加傾向にあり、その中で新規開始患者も増加している。

グラフ中、2010年度より分類方法の変更があり、脳血管が脳血管と脳血管廃用に、運動器が運動器 I と運動器 II に変更されている。2013年度からは「がん」のリハビリも加わった。「がん」リハビリは、今後ますます増加していくと思われる分野であり、療法士数の増加、設備面での拡張が必要と考える。また 2020年度より「心大血管 I」の算定が可能となった。これにより、心筋梗塞、心不全など循環器疾患に対するリハビリテーションの充実を図りたい。

データ提供 リハビリテーション部